授業科目	高齢者支援学Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	荒木　剛、吉原　悦子、石井　美紀代、杉本　有紗、山田　志麻、渡邊　和美						
授業概要	各分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、以下の内容について教授する。 １．要支援・要介護状態の高齢者に対する支援方法について解説・実技指導を行う。 ２．高齢者施設における多職種連携に基づく支援について解説・実技指導を行う。 ※講義と PBL（実習、グループワーク、プレゼンテーション）を行います。 ※看護学科、福祉学科、栄養学科による合同授業となります。 ※開講時期は、夏季休暇中の 3 日間となります。 ※実習は、高齢者複合施設「ふれあいの里とばた」を予定しています。 ※履修希望者が各学科 5 名未満の場合は、開講しないこともあります。						
授業形態	講義			授業方法	PBL		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．看護・栄養・福祉分野の専門性を活かした要支援・要介護高齢者の支援について説明できる。 ２．高齢者施設において利用者と良好な関係を築くことができる。 ３．高齢者施設の利用者に対する適切な支援を多職種連携のもとで検討できる。 高齢者施設において利用者と良好な関係を築き、支援に必要な情報を把握することができる。またその情報に基づき、適切な支援を検討できる。
理想的レベル	高齢者施設において利用者支援に必要な情報を的確に把握することができる。また看護・栄養・福祉分野の専門性を理解し、多職種連携のもとそれぞれの特性を活かした支援を検討できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物		
その他	70%	講義・実習時の態度、ＰＢＬ時の発言・態度・姿勢で評価します

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU10606J WE10606J NT10606J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
当該内容についての予習・復習	4

授業計画

第１回	【看護学科】（担当：石井、吉原）

	実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。 ・高齢者施設における看護職の役割 ・施設利用者の健康管理 ・多職種で支える施設での生活
第 2 回	【栄養学科】（担当：山田、渡邊） 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。 ・高齢者施設の食事の種類と形態 ・施設利用者の栄養管理
第 3 回	【福祉学科】（担当：荒木、杉本） 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。 ・高齢者施設の種類と特徴 ・高齢者施設の利用者とのコミュニケーション方法
第 4 回	【3 大学合同による実習】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、高齢者施設における利用者との関わりや支援に必要な情報把握の方法について実技指導を行う。
第 5 回	【3 大学合同による実習】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、高齢者施設における利用者との関わりや支援に必要な情報把握の方法について実技指導を行う。
第 6 回	【3 大学合同によるグループワーク】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、把握した利用者情報の整理・分析及び適切な支援方法の検討について実技指導する。
第 7 回	【3 大学合同によるグループワーク】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、把握した利用者情報の整理・分析及び適切な支援方法の検討について実技指導する。
第 8 回	【3 大学合同によるプレゼンテーション】（担当：全教員） 実務家教員としての実務経験を活かし、利用者支援に関する検討内容や結果の発表について実技指導を行う。
テキスト	なし
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜、紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	グループワークや発表の際にフィードバックを行います
学生へのメッセー	高齢者施設やその利用者に関する基本的知識及び基礎的なコミュニケーション力を必要とする。

ジ・コメント	新聞や関連雑誌等を通して、高齢者の保健・医療・福祉に関する諸問題への理解を深めておくこと。